

## （事業名）Eco おばちゃん Project 2015

（団体名）Ladies' Eco Circle プラムロード

平成27年度 助成金額 182,040円 主な実施場所 「梅逕学区」→「梅小路校区」→下京区

### 《事業目的・概要》 「子どもたちとの環境共育」

これからの子どもたちにより良い地球環境を継続することという大きな目的を念頭に、ささやかながら私たちの出来る範囲でのパワーで、次世代と大きく連携することを大切に思い、「持続可能なコミュニティー」を構築、将来の環境リーダーを育むという夢を持ち、子どもたちとの環境『共育（異世代がともに育む）』と称する「エコシューレ」を充実させ、「下京区役所屋上 project」とも連携を図り、下京区から情報発信できる活動を実施したいと日々考え、活動しております。

また、「継続すること」を第一と考え、継続事業の継続と主体性にポイントを置き、子どもたちの環境体験教室をはじめ、Eco Summer Festa、ごみ減量に関する毎月の取り組みなどを、いかに継続して、いかに内容を充実させるかを今後の課題と考えながら、2015年度の活動を進めて参りました。

### 《取組内容》 環境の「め」と「こころ」を育もう

私たちのEco おばちゃん Project2015 は、第一目標の「環境共育」エコシューレで始まりました。10年前に梅逕中学校が廃校になり、下京中学校の第二施設として部活動の場となったグラウンドと体育館の片隅を市教委の許可を得て、校区の子どもたちとの環境共育を進めるために畑を耕し、子どもたちの環境に対する「め」と「こころ」を育み、そして私たちも子どもたち同様に主体性をもって企画・運営に上手に取り組むことに力を入れました。

「Eco Summer Festa」については京都学生祭典実行委員会年間交流部と会議を重ね、子どもたちが楽しみながら環境について学べるように、資源の大切さを参加した大人たちも学べるようにという思いで企画しました。

また、梅逕畑での取り組みは春のジャガイモの手入れに始まり、サツマイモの苗植え、ジャガイモの収穫、梅の実の収穫、梅ジュース作り、夏野菜作り、大根の種撒き、落ち葉で腐葉土作り、サツマイモの収穫、焼き芋体験、大根の収穫、収穫鍋、子ども餅つき大会へ大根提供、そして、これからの2月末のジャガイモの種イモ植え付けで一年が回ります。

年度末に年間事業の締め括りとして、地域の大人と子どもたちが参画するエコバスツアーを企画、子どもたちとミニ広報誌の発行で2015年度を次年度へ継続できるかたちで閉じたいと思っています。



## 《成果》 一歩，二歩，三歩・・・実感しています。

### ●夏まつり Eco Summer Festa 2015

27年8月8日(土) 元梅逕中学校にて実施 京都学生祭典，下京町衆倶楽部に関係する各チームの協力を得て，地元各チームと協力し，Eco を体感できる夏まつりになるよう，まずはマイ箸持参とリユース食器の利用と参加者とスタッフにも各コーナーとも資源物分別への協力，食べ物コーナーでは野菜のへたや残飯はコンポストへということを徹底しました。また，夏まつりに先立ち，牛乳パックを利用して工作教室も開催しました。

さて，我が地域の夏まつりの自慢はこの「ごみ」の量です。(右写真→)



### ●サツマイモの収穫と焼きいも大会

エコシュールに参加する子どもたちの楽しみは，サツマイモの苗植えより収穫，それ以上に枯葉を集めて地域の消防分団の協力を得て実施の「たき火」です。今年は梅逕担当の消防隊も巡廻に来ていただけました。サツマイモは実はもちろんのこと東南アジアでは葉っぱも炒め物に利用される話をすると，茎とともに参加者がお持ち帰り，年齢的に三世代が集うと，昔の食生活の話や育児について，今まで会話をしたことのない地域の異世代が焼きいもを通しての交流，「昔は大切な食べ物，捨てる場所があんまりなかったわ。」とおばあちゃんの話に皆が耳を傾けていました。



### ●リユース食器でおもしろいエコなひろがり

Eco Summer Festa のマイ箸持参とリユース食器の利用は年々参加者には周知され，マイ箸を忘れた貸出用のお箸利用者も減少傾向です。国際交流会館日本語カフェでのカップやコップ利用も毎年好評，梅小路PTAの梅小路フェスのカレー皿，伝承遊びの日の豚汁皿も好調で，年末地域清掃では下京中野球部との収穫鍋，安寧・大内・梅逕少年補導の餅つき大会での各種サイズの利用，下京町衆倶楽部の下京茶屋での利用と「あたりまえ」にリユース食器を利用してもらっています。使用決定に手間取ったところも，最近では解消され，「借りられますか？」と問われることが多くなりました。

興味深いところで，地域のお寺で企画した二回の日タイ教育交流協会のタイ舞踊と高校生の交流に協賛して，お茶用のコップとタイのデザート用容器を利用，リユース食器とごみ減量が国際交流の中での話題にもなりました。

### ●3月の話題は・・・

3月には子どもたちとエコシュールの成果と梅小路校区の環境に力を入れていることを取材して「何か」かたちになるものを作成することを企画しています。また3月13日には「ゆめほたる（国崎クリーンセンター啓発施設，兵庫県川西市）」へのエコバスツアーを実施。環境に関することと防災に関することをテーマに体験学習をしました。車中では被災した時のリユース食器とエコクッキング道具の紹介などを行いました。

【代表者】 代 表 西井 博子 【主な活動地域】 「梅逕学区」→「梅小路校区」→下京区

【ウェブサイト】

【設立の目的】

梅逕安心安全ネットワークごみ減量推進委員会で活動中の女性陣が集まり、女性ならではの視点、論点を屈指し、

環境教育を考える活動を実施するなか、「おばちゃんパワー」を結集したサークルが誕生しました。私たちひとりひとりが次世代との連携を大切に、「持続可能なコミュニティー」の構築に、ささやかな力を集めるために設立。○○○○○

○

【主な活動内容】 京都市下京区「梅逕学区」→「梅小路校区」→下京区

- 毎月第1日曜日 コミュニティー回収
- エコショーレ(環境学習会)
- 毎月5日・20日 井戸端 Talking
- Cleaning 地域清掃活動
- Gardening 梅逕畑ときどき下京区役所屋上
- Cooking 梅逕畑の野菜の使い方